

コロナ禍の影響で郵趣イベントの中止が相次ぐ中、8月30日（日）JPS小郡支部による切手のつどいは例年通り開催されました。数十年來7月第4日曜日の開催でしたが、小郡市のイベントの都合で昨年は9月、今年は8月開催でした。

最終的な参加人数は34人（小郡支部集計）。例年は60～80人なので、約半数とかなり少ないながら、参加の収集家は高齢者が多い傾向があることを考え合わせると、立派な開催状況だったと思いました。

講演は、公益財団法人日本郵趣協会九州沖縄地方本部長として私が行いました。「ネットオークションを利用しよう（ヤフオク入門編）」と題しての講演でした。ヤフオクは切手の入手方法として一般的になっていると思っていましたが、実は高齢者にとってまだまだ敷居が高いという声がありましたので、ヤフオク利用へ戸惑っていらっしゃる方の背中を押してヤフオクの世界に入る手助けができればとの思いで今回講演

しました。高齢者でもパソコンを一つのソフトに絞って操作を覚えれば使えるようになるというのは私の母の例がありました。2007年49歳で中国の大学の日本語専門教師として長崎県から派遣されていく際、スカイプ（無料のテレビ電話ソフト）の使い方のみを教えていったところ、これのみ使えるようになって、頻繁にテレビ電話していたということがあったからです。当時75歳の母でも使えたのだから、ヤフオクに限ってでいいから使えるようになってほしいとの願いもありました。

講演終了後、勅額切手の質問がかなりありました。

このイベントの午後の部は盆回しですが、参加者のせいかいつもより点数も少なめでした。次ページに会場の様子を掲載します。

九州でのイベントは、スタンプショウかごしまは中止、スタンプショウはかたは10月17-18日の日程で行われます。

